



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社  
コード番号 6698 URL <https://www.visco-tech.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足立 秀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 滝沢 義信

TEL 03-6402-4500

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,559	22.1	0	99.8	15	95.8	23	
2022年3月期第2四半期	2,001	12.6	363	30.7	376	37.3	245	41.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 150百万円 (51.9%) 2022年3月期第2四半期 313百万円 (87.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.84	
2022年3月期第2四半期	39.15	38.86

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,620	3,511	71.9
2022年3月期	4,555	3,542	74.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,322百万円 2022年3月期 3,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の配当予想額は未定であるため、記載していません。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,610	9.3	230	65.9	260	62.4	130	72.0	20.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(2022年11月11日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	6,440,000 株	2022年3月期	6,429,600 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	328,278 株	2022年3月期	151,463 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,212,360 株	2022年3月期2Q	6,265,889 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期2Q 29,700株、2022年3月期29,900株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期2Q 29,700株、2022年3月期2Q 30,000株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。また、当社は、2022年11月18日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症対策が進み営業活動も徐々に正常化し始めました。しかしながら、中国においては、ゼロコロナ政策のロックダウンにより、営業活動に影響を受けました。また、中国経済の減速によるスマートフォン・PC需要の低迷、半導体及び部材不足、及び世界的なインフレの進行に伴う景気後退懸念など、市場環境は依然として不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは車載用や民生機器用の電子部品検査用途を中心に受注が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間における受注額は前年同期比で8.3%上回り、当第2四半期連結会計期間末（2022年9月末）での受注残高は前年同期末対比で62.4%増加しました。

しかしながら、当該期間における売上高につきましては、前年同期比で22.1%減収となりました。これは前連結会計年度のスマートフォン向け大型設備投資に伴う電子部品検査用大型案件が当連結会計年度は設備投資が一巡したことにより減少したこと、中国ロックダウンの影響による営業活動の停滞、及び売上計上時期のずれ込みによるものです。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は1,559,988千円（前年同期比22.1%減）、売上総利益は885,580千円（同24.7%減）、営業利益は588千円（前年同期比99.8%減）、経常利益は15,636千円（同95.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は23,886千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益245,318千円）となりました。

なお、当社グループは、画像処理検査装置事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,130,498千円となり、前連結会計年度末に比べ60,285千円（1.5%）増加いたしました。これは主に、売上債権の回収に伴い受取手形及び売掛金が463,039千円減少した一方で、売上債権の回収及び短期借入金の増加等により現金及び預金が463,232千円増加、及び販売在庫の引当により製品、原材料及び貯蔵品が45,187千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は490,319千円となり、前連結会計年度末に比べ5,288千円（1.1%）増加いたしました。これは主に、減価償却により有形固定資産が11,483千円減少した一方で、繰延税金資産が16,201千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は800,851千円となり、前連結会計年度末に比べ115,124千円（16.8%）増加いたしました。これは主に、国内における法人税等の納付により未払法人税等が34,109千円減少した一方で、販売在庫の引当により買掛金が16,387千円増加、及び短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は308,771千円となり、前連結会計年度末に比べ18,120千円（5.5%）減少いたしました。これは主に、株式給付引当金が3,007千円増加した一方で、長期借入金が11,664千円減少、及びリース債務が9,589千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計額は3,511,194千円となり、前連結会計年度末に比べ31,430千円（0.9%）減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が132,881千円増加、及び非支配株主持分が41,800千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失23,886千円を計上、配当金支払により利益剰余金が50,464千円減少、及び自己株式の市場買付並びに譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分により自己株式が132,145千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.9%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想については、当第2四半期累計期間の業績等を勘案し、2022年5月10日に公表しました通期業績予想を修正しております。

詳細は、本日（2022年11月11日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提と予測に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,258,715	2,721,947
受取手形及び売掛金	1,145,593	682,553
製品	309,811	325,719
原材料及び貯蔵品	277,450	306,730
その他	78,696	95,034
貸倒引当金	△54	△1,487
流動資産合計	4,070,212	4,130,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,946	68,155
減価償却累計額	△27,732	△30,061
建物及び構築物(純額)	40,214	38,094
その他	441,794	467,671
減価償却累計額	△328,682	△363,922
その他(純額)	113,112	103,748
有形固定資産合計	153,326	141,843
無形固定資産		
ソフトウェア	168,317	173,550
その他	36,309	30,634
無形固定資産合計	204,626	204,184
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,059	36,260
その他	107,018	108,031
投資その他の資産合計	127,077	144,291
固定資産合計	485,031	490,319
資産合計	4,555,244	4,620,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	214,656	231,044
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	23,328	23,328
未払法人税等	62,623	28,514
賞与引当金	76,140	78,000
その他	208,978	239,964
流動負債合計	685,726	800,851
固定負債		
長期借入金	251,400	239,736
株式給付引当金	18,287	21,295
資産除去債務	24,052	24,143
その他	33,152	23,597
固定負債合計	326,892	308,771
負債合計	1,012,619	1,109,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	492,361	493,338
資本剰余金	491,253	490,660
利益剰余金	2,478,805	2,404,454
自己株式	△157,709	△289,855
株主資本合計	3,304,709	3,098,598
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	90,533	223,415
その他の包括利益累計額合計	90,533	223,415
非支配株主持分	147,381	189,181
純資産合計	3,542,624	3,511,194
負債純資産合計	4,555,244	4,620,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,001,754	1,559,988
売上原価	825,774	674,407
売上総利益	1,175,979	885,580
販売費及び一般管理費	812,768	884,992
営業利益	363,210	588
営業外収益		
受取利息	2,389	4,994
為替差益	5,978	12,901
助成金収入	8,996	97
その他	136	365
営業外収益合計	17,501	18,358
営業外費用		
支払利息	3,171	1,935
支払手数料	1,405	1,374
その他	10	0
営業外費用合計	4,587	3,310
経常利益	376,125	15,636
特別損失		
固定資産除却損	1,091	15
特別損失合計	1,091	15
税金等調整前四半期純利益	375,034	15,621
法人税、住民税及び事業税	86,928	33,426
法人税等調整額	22,954	△16,195
法人税等合計	109,883	17,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	265,151	△1,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,832	22,276
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	245,318	△23,886

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	265,151	△1,609
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	48,535	152,405
その他の包括利益合計	48,535	152,405
四半期包括利益	313,686	150,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,997	108,995
非支配株主に係る四半期包括利益	19,688	41,800

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	375,034	15,621
減価償却費	84,167	85,617
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△528	1,268
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,600	1,860
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	11,950	3,007
受取利息及び受取配当金	△2,389	△4,994
支払利息	3,171	1,935
為替差損益 (△は益)	490	△1,641
助成金収入	△8,996	△97
固定資産除却損	1,091	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△195,706	491,800
棚卸資産の増減額 (△は増加)	50,781	△18,622
仕入債務の増減額 (△は減少)	△121,414	2,335
その他	37,645	1,610
小計	210,694	579,715
利息及び配当金の受取額	2,388	4,994
利息の支払額	△2,941	△1,562
法人税等の支払額	△113,916	△67,205
助成金の受取額	8,996	97
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>105,222</b>	<b>516,039</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△601	△600
有形固定資産の取得による支出	△17,744	△11,109
無形固定資産の取得による支出	△49,402	△55,666
敷金及び保証金の差入による支出	△45,591	△425
敷金及び保証金の回収による収入	—	8
その他	74	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△113,264</b>	<b>△67,792</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,395	△6,930
長期借入金の返済による支出	△17,144	△11,664
株式の発行による収入	—	1,955
自己株式の取得による支出	△31,418	△143,924
自己株式の売却による収入	31,350	—
配当金の支払額	△49,920	△50,309
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△73,528</b>	<b>△110,872</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,298	125,258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△47,272	462,632
現金及び現金同等物の期首残高	2,332,923	2,195,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,285,650	2,657,772

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式190,000株の取得を行いました。また、譲渡制限付株式報酬として2022年8月8日を期日とする自己株式の処分(12,985株)を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が132,145千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が289,855千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の連結財務諸表「注記事項(追加情報)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。